

# 令和5年度 決算 を報告します

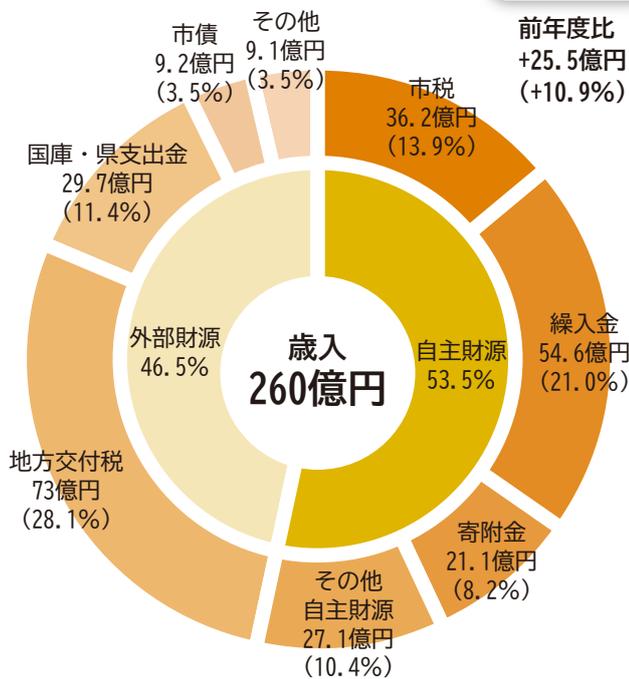
## 合併後最大の決算額!!

令和5年度の決算は、過去に発行した地方債の償還が見込みどおりに減少し、これに伴う普通交付税も減少しました。持続可能な財政運営の実現に向けた財政調整基金の保有高にかかる運営方針を改め、基金再編による繰入金及び積立基金が大幅に増加した影響から、歳入歳出ともに合併後最大の決算額となりました。

歳入 260億円 - 歳出 245億円 - 翌年度繰越財源 = 13億円の黒字

### 一般会計

### 歳入



### 歳入の前年比較

繰入金 +36.6億円(+203.8%)

- 貯金(基金)を取り崩したお金  
財政調整基金から清掃施設整備事業基金、公共施設管理基金、防災基金、企業立地促進基金への基金再編に伴う増加

国庫・県支出金 -2.6億円(-8.0%)

- 特定事業に国や県から交付されるお金  
新型コロナウイルス対策のための交付金や道路整備に係る交付金などの減少

地方交付税 -1.6億円(-2.2%)

- 行政サービス水準確保のため国から交付されるお金  
合併特例事業債などの借入金完済による措置額の減少  
や個人番号カードに係る措置額の皆減による減少

寄付金 +0.6億円(+2.9%)

- ふるさと納税寄付金など、市内外からの寄付  
ふるさと納税として全国から寄付を賜り、過去最高額を更新

返礼品(+2,371商品)・返礼品取り扱い事業者(+10事業者)の増加、市内事業者のたゆまぬ努力の結果、ふるさと納税寄付金 20.3億円となりました!!

#### 【主なメニュー別寄付額】

- 地域振興・観光・まちづくり・防災に関する事業 ..... 6億5,503万円
- 福祉・子育て支援等に関する事業 ..... 3億6,626万円
- 教育・文化等に関する事業 ..... 3億2,731万円
- こどものこころクリニックの運営に関する事業 ..... 9,298万円
- 飛騨市の子どもたちを大きく育むプロジェクト ..... 9,617万円

#### 【主な寄付金の活用】



子どもたちのスポーツ支援



学校作業療法士等による支援



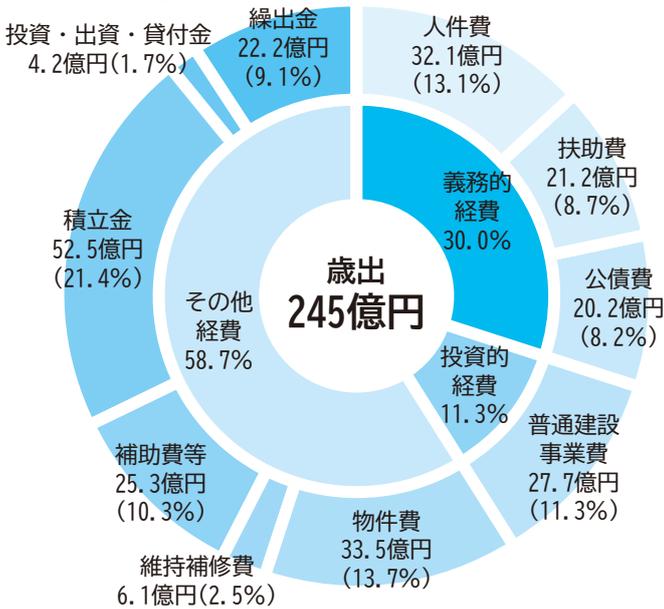
地域の助産師による出産・育児支援



関係人口プロジェクトの実施

歳出

前年度比  
+26.7億円(+12.3%)



歳出の前年比較

扶助費 +2.5億円(+13.6%)

- ・児童手当や生活保護、障がい者支援に対する給付など住民税非課税世帯等に対して実施した重点支援給付金の皆増をはじめ、グループホーム利用者等の増加に起因する福祉サービス給付費の増加による反動

補助費等 -1.9億円(-7.1%)

- ・個人・団体への補助金など価格高騰緊急支援給付金(住民税非課税世帯等)の皆減や、新型コロナウイルス抗原定性検査キット購入助成金の減少

維持補修費 +1.1億円(+22.1%)

- ・公共施設の修繕や道路除雪費など  
平年並みの降雪量であったが、近年の物価高騰や人件費の上昇による反動

普通建設事業費 +0.5億円(+1.9%)

- ・道路や公共施設の整備費用など  
学校空調整備改修や障がい者グループホーム整備、飛騨市クリーンセンター施設修繕など

災害復旧事業 -0.2億円(-83.2%)

- ・自然災害により被災した施設の復旧費用  
令和3年6～7月豪雨により被災した市道土木施設跡津川線復旧が完了したことによる減少

特別会計

特別会計全体では実質収支額(歳入歳出の差引額から翌年度に繰り越す一般財源を除いた額)は、4億2,781万円となり健全な事業運営が行われています。

特別会計	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険	27億8,937万円	27億760万円	8,177万円
後期高齢者医療	4億6,399万円	4億5,429万円	970万円
介護保険	34億83万円	31億1,415万円	2億8,668万円
公共下水道事業	13億568万円	13億30万円	538万円
特定環境保全公共下水道事業	1億9,060万円	1億7,902万円	1,158万円
農村下水道事業	3億1,063万円	2億8,385万円	2,678万円
個別排水処理施設事業	1,352万円	981万円	371万円
下水道汚泥処理事業	1億7,816万円	1億7,815万円	1万円
駐車場事業	345万円	184万円	160万円
情報施設	814万円	814万円	0万円
給食費	3,441万円	3,382万円	59万円
計	86億9,879万円	82億7,098万円	4億2,781万円

公営企業会計

公営企業会計	収入決算額	支出決算額	資金剰余額
水道事業(収益)	5億8,225万円	4億8,897万円	12億7,032万円
水道事業(資本)	3,918万円	1億7,430万円	
国民健康保険病院事業(収益)	16億7,090万円	17億1,862万円	14億8,092万円
国民健康保険病院事業(資本)	4,916万円	1億3,597万円	
計	23億4,149万円	25億1,786万円	27億5,124万円

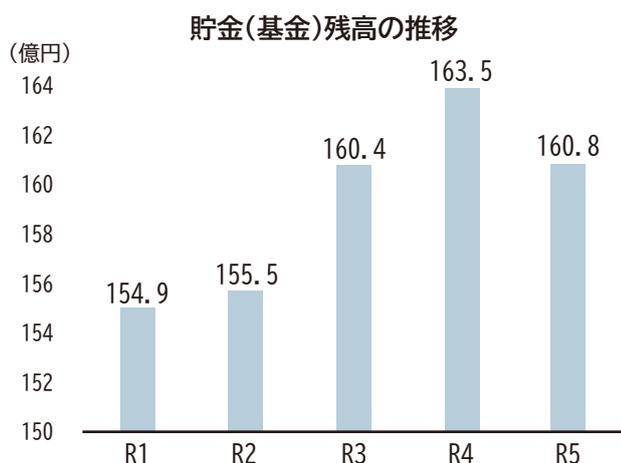
※本表は歳入歳出決算額を万円単位で四捨五入表示しているため、数値が一致しないことがあります

## 貯金は微減 ↓ 借金は減少 ↓



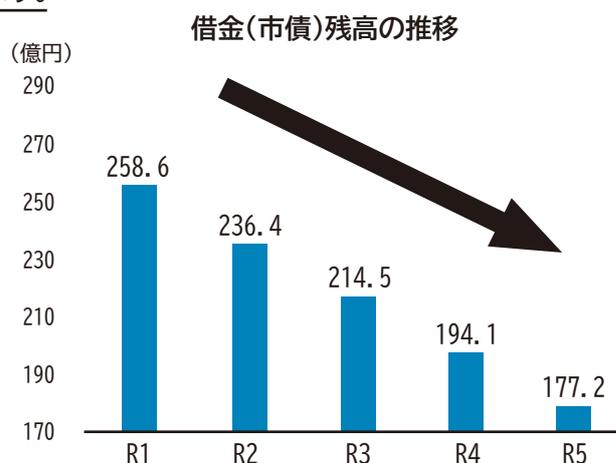
### 貯金（基金）の状況

公共施設管理基金をスキー場リフト整備事業に、清掃施設整備事業基金を飛騨市クリーンセンター施設修繕事業に活用するとともに、ふるさと納税寄附金を主な原資としたふるさと創生事業基金では、寄附者のご意向に沿った特色ある事業に活用しました。



### 借金（市債）の状況

発行した主な市債は、過疎対策事業債6億7,880万円、脱炭素化推進事業債1,600万円、辺地対策事業債4,410万円などがあり、主な活用先としては過疎対策事業債でかわいいスキー場圧雪車購入事業や杉崎公園駐車場等整備事業、脱炭素化推進事業債では市役所本庁舎LED照明整備事業、辺地対策事業債では稲越健康管理センタートイレ改修事業となります。市債残高は平成24年度をピークに11年連続で減少しています。



## 財政指標

### 財政健全化判断比率等の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、市の財政状況を判断するための指標です。当市では、令和5年度も全ての項目で国の定める健全化基準を下まわっており、財政の健全性が保たれています。今後も将来を見据えた堅実な財政運営に取り組んでいきます。

健全化判断比率	R5 数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.24%	20.0%
連結実質赤字比率	—	18.24%	30.0%
実質公債費比率※	<b>12.2%</b>	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	
資金不足比率	—	経営健全化基準 20.0%	

※実質公債費比率…借入金の返済額などの大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです



### 審査意見総括

本市の財政は、健全な状態は維持されているものの、人口減少等に伴う地方交付税の見直しなど依存財源が抑制される傾向にあります。自主財源の確保とともに、事業効果を検証し、行財政の効率化に努め将来にわたる健全財政が維持できるよう取り組まれることを強く望みます。

8月26日 意見書を都都市長へ提出する島田哲吉代表監査委員（中央）と澤史朗議会選出監査委員（左）

